

※一部非公開

平成23年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 沖縄島嶼教育コース

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

2 ページ以降にある〔資料1〕,〔資料2〕を読み,以下の各問に答えなさい。

問1 〔資料1〕の要旨を述べなさい。(200字程度)

問2 〔資料2〕の7ページの下線部に「沖縄には独自の豊かさがある」とあるが,筆者の考える沖縄の独自の豊かさとは何か。この資料文全体の論の展開を踏まえつつ述べなさい。(400字程度)

問3 〔資料1〕に描かれた状況は,〔資料2〕の論旨とは必ずしも同じではない。沖縄の現実をみる際の両者の観点をとらえ直し,あなたの考えを述べなさい。(600字程度)

[資料 1]

非公開

非公開

非公開

(森口 豁, 『だれも沖縄を知らない——27 の島の物語』, 筑摩書房, 2005 年, 262-271
ページ, 抜粋・一部改変)

[資料 2]

非公開

非公開

非公開

非公開

(西川潤「沖縄の豊かさをどう計るか【沖縄の“豊かさ”を考えるための基礎作業】」
『環』vol.30, 藤原書店, 2007年, 249-261ページ, 抜粋・一部改変)

平成23年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 沖縄島嶼教育コース

出題の意図

沖縄島嶼教育コースは、沖縄を中心とした島嶼地域について広い見識と専門知識を持ち、シマおこし・まちづくりを担う人材を育てるために、「生涯教育や社会貢献に興味・関心を持つ人」「人々と共に地域貢献に関わりたい人」を求めている。

そこで本コースの入学試験問題は、第一に、基礎的な一般的力量として、資料の読解力と自分の意見を論述する力を問うことをねらいとしている。

第二に、沖縄・島嶼地域をとりまく文化的・政治的・経済的状況やそこに生起する諸問題の基本的なとらえ方と、それらの問題に対する関心度をはかることを意図している。これは、それらの問題に関する知識の多寡ではなく、資料からその問題をめぐって追究すべき論点は何であるかを抽出し、その論点についての自分自身の判断を整理して論述できるかどうかを問うものである。